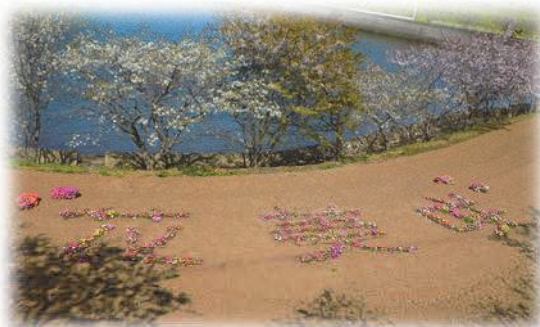


家畜衛生情報誌

# 『一支国』

2020. 春号

郷ノ浦町 半城湾



桜の名所  
今年も満開でした \*

芦辺町 國片主神社付近



芦辺町 諸津観音白歯雪公園



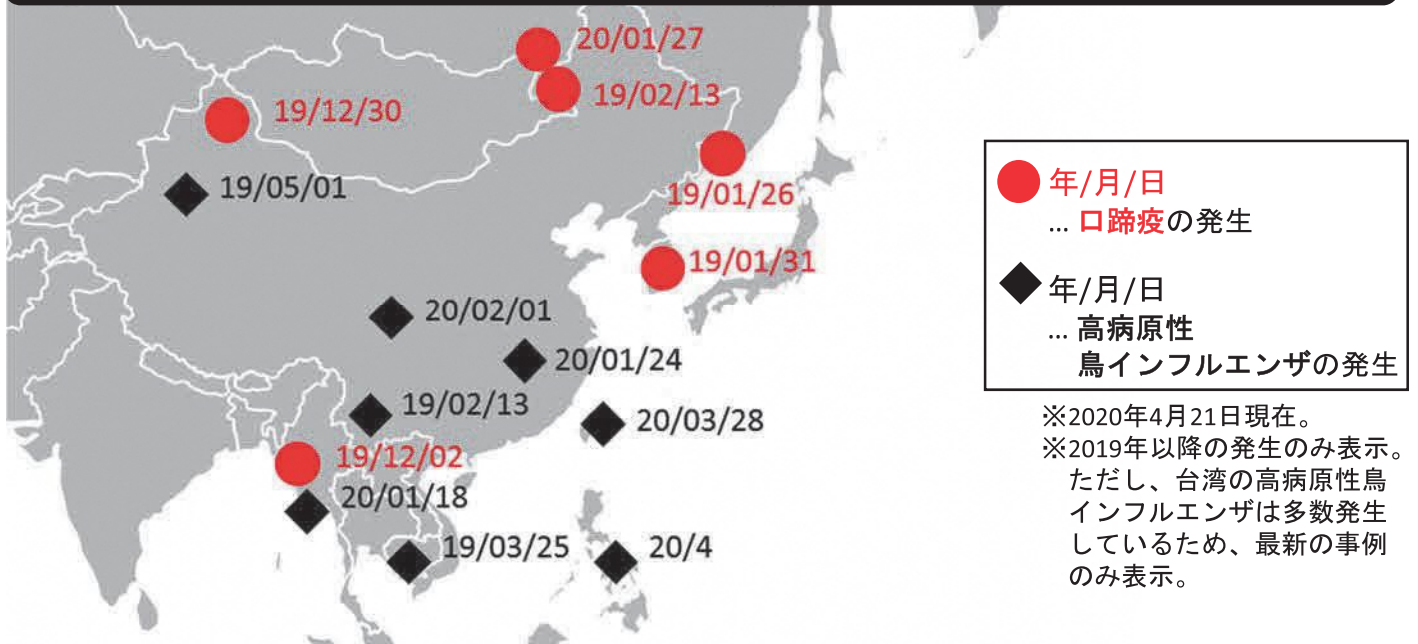
壱岐振興局農林水産部 壱岐家畜保健衛生所

〒811-5734 長崎県壱岐市芦辺町国分本村触1385-1 TEL : (0920) 45-3031

E-mail : s13230@pref.nagasaki.lg.jp

FAX : (0920) 45-3386

## 近隣諸国における口蹄疫、鳥インフルエンザの発生状況



ロシア、中国、モンゴル、韓国、台湾、フィリピン、ベトナム等の近隣諸国において、依然として口蹄疫や鳥インフルエンザが発生しています。家畜や家禽を飼っている方は、以下のことに気をつけましょう。

- ▶ 農場に「**衛生管理区域**」を設定し、**消石灰帯等でその境界を明示**すると共に、「**関係者以外立入禁止**」などと表示した看板等を設置して、人や物の衛生管理区域への出入りを制限しましょう。
- ▶ **衛生管理区域及び畜舎に入る車、人、物に対し、消毒**を行いましょ。特に、**家畜に直接接触するものを衛生管理区域に持ち込む場合、必ず消毒**しましょう。また、4か月以内に海外で使った衣服と靴は、衛生管理区域に入れてはいけません。その他、家禽を飼う方は、**野鳥と家禽が触れ合わない**ようにしましょう。
- ▶ 家畜の伝染病を広げないためには、**早期発見が重要**です。**毎日、家畜を観察し**、以下のような症状が見られたら、**すぐに家畜保健衛生所に連絡**しましょう。



①



②



③



④

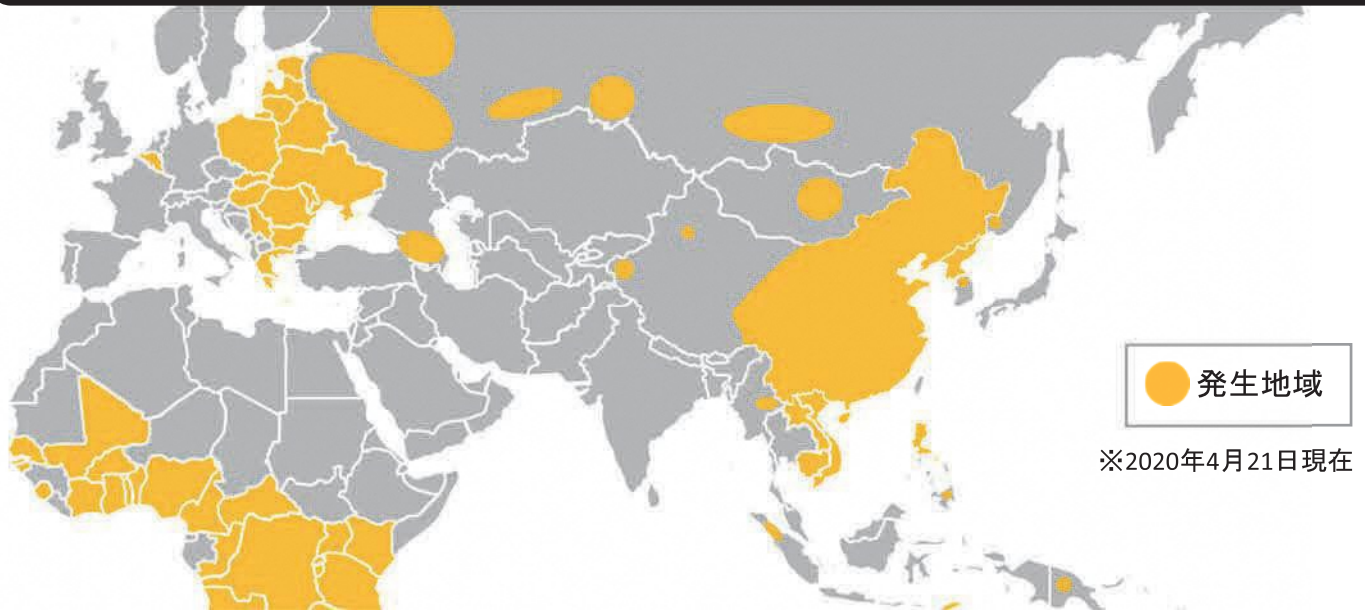


⑤

図① 鶏冠（とさか）の壊死                      図② 顔面の腫れ  
 図③ **泡状のよだれ**を大量に流す          図④ 口唇に**潰瘍**  
 図⑤ 蹄間に**水疱** ※この他 鶏では5羽以上の**突然死**等

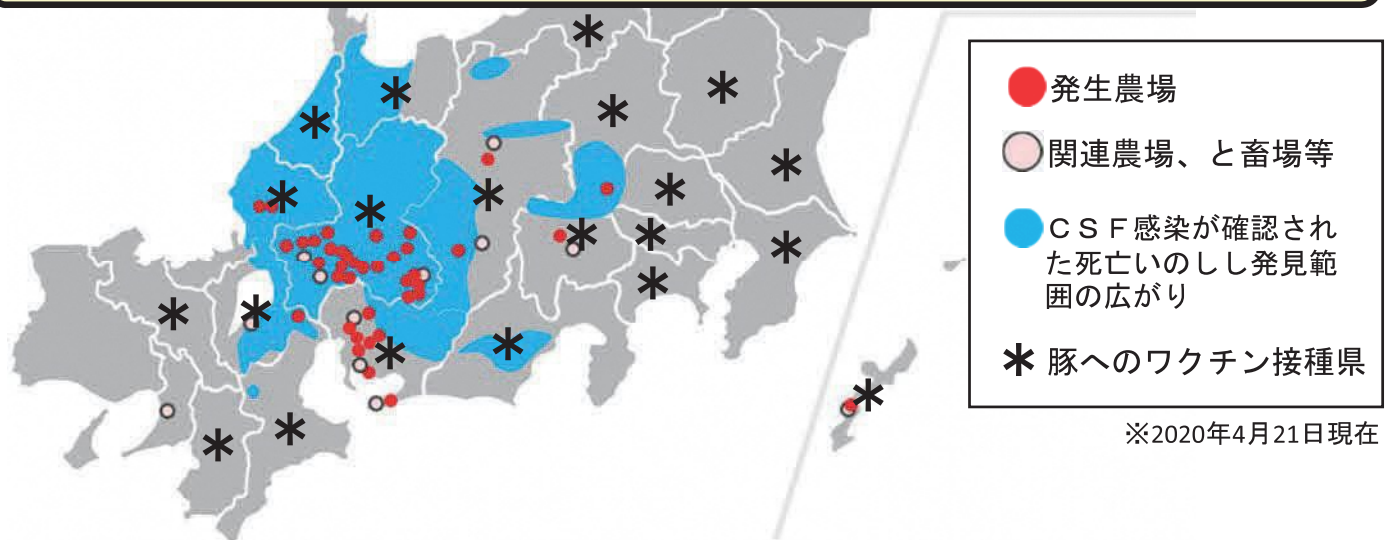
吉岐家畜保健衛生所 ☎ 0920-45-3031  
 (夜間休日にも携帯電話に転送されます)

## 世界におけるアフリカ豚熱（ASF）の発生状況



ASFウイルスは、不顕性感染するアフリカのイボイノシシが自然宿主ですが、2007年以降、常在地域からのウイルスに汚染された豚肉厨芥の持ち込みによりジョージアに侵入し、東欧の近隣国に広がりました。2018年に中国に侵入すると、中国国内で拡大し、2019年には韓国や東南アジア諸国にも発生が広がりました。2019年末までにアジア全体で171万1,677頭の豚に被害をもたらしており、日本国内への侵入が危惧されています。

## 日本における豚熱（CSF）の発生状況



CSFは国内で2018年9月以降、1府9県、58事例が発生し、16万頭以上の豚が防疫措置のため殺処分されました。また、12県で野生いのししの感染が確認され、病原体の拡散が懸念されています。2019年10月以降、ワクチン接種推奨地域における豚の予防的ワクチン接種が行われているほか、野性いのしし対策として捕獲の強化、経口ワクチン散布が行われており、本年3月12日の沖縄県における事例を最後に、新たな発生は認められていません。

なお、**壱岐で死亡いのししを発見された場合は、いのししを現状のままにして、直ちに壱岐家畜保健衛生所へご連絡ください。**

## 県外導入牛はヨーネ病検査が必要です！

ヨーネ病は、牛にヨーネ菌が感染することにより、頑固な下痢と重度の削瘦を呈する家畜伝染病です。近年でも全国で毎年300戸前後の発生が確認されており、平成30年は321戸831頭、平成31年(令和元年)は380戸1065頭の発生が確認されています。ヨーネ病の牛が摘発された場合、飼養者は、家畜伝染病予防法に基づき、当該患畜の殺処分を行うことを求められます。

ヨーネ菌に感染してから発症までは通常、一年以上の期間を要するため、見かけ上健康な感染牛を気づかずに導入してしまい、農場内で感染を広げてしまう恐れがあります。また、一度農場がヨーネ菌に汚染されると、清浄化までに多大な労力と時間を要する厄介な疾病です。

本県では、県外からのすべての導入牛についてヨーネ病検査を実施することで農場へのヨーネ病の侵入防止を図っています。県外から牛を導入される場合は、必ず事前に吉岐家畜保健衛生所に連絡してください。また、飼養牛に長く続く水様性下痢と削瘦がみられる場合、家畜保健衛生所にご相談ください。



図① ヨーネ病発症牛の顕著な削瘦

図② ヨーネ病発症牛の水様性下痢

写真: 農研機構  
動物衛生研究部門  
ウェブページ

## 96か月齢以上で死亡した牛はBSE検査が必要です！

牛海綿状脳症(BSE)は、異常型プリオン(感染性蛋白質)を病原体とする疾病で、日本は清浄国となっており、清浄性維持のため、以下の①～④に該当する死亡牛の検査が必要です。

- ① 96か月齢以上の死亡牛
- ② 48か月齢以上の起立不能を示していた死亡牛
- ③ 全月齢のBSEを疑う症状のあった死亡牛
- ④ 48か月齢以上の牛白血病等、届出伝染病(疑い含む)で死亡した牛及び家畜伝染病(口蹄疫等除く)の患畜等で死亡した牛

BSEは、異常型プリオンが含まれる飼料を牛が経口摂取することで感染します。BSEの発生予防のため、牛が動物性蛋白質を含むペットフードや、調理かす等を口にしないよう、今後もご注意をお願いします。

## 12か月齢以上で死亡した緬山羊はTSE検査が必要です！

伝達性海綿状脳症(TSE)は、BSEと同じく、異常型プリオンを病原体とするプリオン病です。12か月齢以上の死亡緬山羊はTSE検査の対象となっていますので、ご自宅で飼っている緬山羊が亡くなった場合は、家畜保健衛生所にご連絡の上、家畜保健衛生所に搬入してください。

# 家畜人工授精は疑義が生じないように!!

先般から、沖縄県や山口県において和牛の遺伝子不一致事例が発覚しており、家畜人工授精に対する信頼が揺らいでいます。

沖縄県の事例では、同一発情期間に異なる種雄牛の精液を授精したため、どちらの種雄牛が父親かはっきりせず、結果として異なる血統の子牛が出荷されてしまいました。

このような事例を防止するため、黒毛和種等の和牛においては、登録事業の規定で「同一発情期間に授精する種雄牛は1頭のみとし、種雄牛が特定できるもの」となっています。したがって、同一発情期間に複数回授精する場合は、同じ種雄牛の精液を授精するようお願いいたします。

また、家畜人工授精に対する信頼を確保するため、精液証明書の裏書の徹底、家畜人工授精簿への正確な記録、授精証明書等の適正な交付など家畜改良増殖法の遵守をお願いいたします。

生産者の皆様におかれましては、子牛の取違え等による出荷子牛の血統の誤りがないよう、より一層のご留意をお願いいたします。



## 平成31年 精液利用ベスト10

壱岐地区での総利用本数は10,856本（対前年286本減）、このうち県有牛は8,015本（73.8%）で、前年比8.1ポイント減でした。

No.	種雄牛	所有者	利用本数	シェア (%)	前年
1	金太郎3	長崎県	3,198	29.5	→ (1位)
2	百合幸	長崎県	1,435	13.2	↑ (5位)
3	若百合	鹿児島県 上別府	1,013	9.3	↑ (12位)
4	平茂晴	長崎県	1,000	9.2	↓ (3位)
5	勝乃幸	長崎県	693	6.4	↑ (6位)
6	弁慶3	長崎県	651	6.0	↓ (2位)
7	美津洋	長崎県	532	4.9	新
8	隆之国	鹿児島県 羽子田	351	3.2	↓ (7位)
9	美国桜	鹿児島県 徳重	338	3.1	↓ (4位)
10	美津照重	家畜改良事業団	288	2.7	↓ (8位)

※集計期間：平成31年1月1日～令和元年12月31日

# 職員紹介・令和2年度



鬼塚伸幸  
農林水産部 副部長  
(吉岐家畜保健衛生所長)

4月からの新体制図です。  
よろしくお願いします

## <衛生課>

転入



久住呂毅  
(課長)

## <衛生班>



高山裕介  
(係長)



日高裕介  
(主任技師)



中山 航  
(獣医師)

## <庶務>



長戸洋子  
(会計年度任用職員)

## ～転入者あいさつ～

県央振興局から赴任してきました。吉岐の勤務は初めてです。

吉岐は、平茂晴、勝乃勝、金太郎3、弁慶3等多くの種雄牛が生産された地域で、生産者の皆様や関係機関・団体の方々の畜産に対する情熱を強く感じています。吉岐の畜産振興に少しでも貢献できるよう、精一杯頑張ります。よろしくお願いします。

久住呂 毅 (課長)

## ---お世話になりました---



吉岐での3年間、大変お世話になりました。平成2年、初任地として3年間勤務、そして2回目の吉岐勤務。令和2年に再度旅立つことになりました。2回目であったこともあり、知り合いも多く、大変良くしていただきました。特に肉用牛改良関係では、農家、農協にご協力いただきました。県和牛共進会、さらに全国和牛共進会においてご活躍することを祈念いたします。3年間ありがとうございました。

谷山 敦 → 中央家畜保健衛生所へ異動

2年間という短い間でしたが、島での暮らしを堪能させていただきました。県職初任地が吉岐であったのは本当に幸運でした。吉岐での経験を胸に新勤務地でも頑張り、ゆくゆくは吉岐に戻ってきたいと思っております。本当にお世話になりました。

富永知宏

→ 県南家畜保健衛生所へ異動

